

令和4年度

# 日田教育事務所 経営方針説明

令和4年4月1日

所長 工藤 克文

教育事務所ってなんのためにあるの？

# 日田教育事務所の存在意義

役に立つこと

とは??

なんのために?



# 日田教育事務所の存在意義

手段

- ・授業改善
- ・いじめ・不登校対策
- ・体力向上、健康課題
- ・特別支援教育

育成を目指す  
資質能力

協働

学校の教育  
目標の達成

協働

「学校マネジメント  
の4つの観点」

目指す子ども像

学校

地域

学校エージェンシーの向上

家庭

個別最適な  
学び

「内発性」発揮  
「自走」可能

「学校評価の  
4点セット」

協働

社会に開かれた教育課程

働き方改革

子どもたちの有能さを引き出す(顕在化)

「手段」の「目的化」?

# 日田教育事務所の存在意義 = 目的

子どもたちの有能さを引き出す(顕在化)

潜在的な

目指す学校の姿



- 「教育」自体も「エコシステム」の一部である
- 教員、生徒、保護者、地域による意思決定を行う
- (上記の) 皆が責任を持つ
- 学習のプロセス重視で評価、改善を行う
- 非線形型発達モデル (⇐型にはまった、標準化された発達モデル) を想定する
- 「診断的評価」重視 ⇒ 「形成的評価」重視へ
- 生徒の能動的な学習への「参画」を重視する



# 日田教育事務所の基本的な考え方＝手段

役に立つ日田教育事務所

## 【ミッションⅠ】

### 学校の役に立つ

- ※学校の「問題解決」支援へ総力を結集
- ・学校の「困り」の的確な把握
- ・専門性・指導力の研鑽・向上
- ・「代替案等」の捻出・提示・支援

## 【ミッションⅡ】

### 市町教育委員会の役に立つ

- ※協働体制(態勢)の更なる強化
- ・相互信頼に基づくベストミックスの堅持
- ・即時的な情報共有、連携・分担・協働

日田教育事務所エージェンシー  
を基盤とした4つのミッション

## 【ミッションⅢ】

### 関係各課の役に立つ

- ※効果的・効率的な施策の遂行、課題等の共有
- ・適切なスパンでの効果測定、好事例、  
あるいは改善点等の提案
- ・迅速かつ高精度の情報共有、リエゾン派遣

## 【ミッションⅣ】

### 職場スタッフ相互の役に立つ

- ※相乗効果のある同僚性の一層の向上
- ・心身の健康維持、やりがい・充実感・達成感
- ・個々の独自性・独創性・専門性の尊重
- ・タイムマネジメント及び職務の「質」の担保

逆説的に考えて  
みましょう



# 「役に立たない」日田教育事務所の基本的な考え方

全く

“存在意義のない”  
日田教育事務所

A学校：うちの学校は若手職員が多くてね、みんなよく頑張ってる！子どもも「特性」持ってる子多いしね。（現状満足？ 教員は疲弊！？）  
事務所：ですよねー。しょうがないですよねー。（困りを把握しない、変革を促さない。）

※学校の「困り」の的確な把握  
・学校の「困り」の的確な把握  
・専門性・指導力の研鑽  
・「代替案等」の抽出・提示

指導主事：いつまで講義式の授業中心ですか？（言いはなし！）

【ミッションII】  
市町教育  
「マネジメント？なにそれ？必要？」  
立つ

協働体制（態勢）  
・相互信頼に基づいた  
・即時的な情報共有

市町教委：A校で人材育成どうしたらよいでしょう？  
事務所：校長の責任でしょ！

日田教育事務所エージェンシー  
を基盤とした4つのミッション

市町教委：B校の支援訪問いつになります？  
事務所：…（失念していた）

【ミッションIII】

関係各課の役割

※効果的・効率的な  
適切なスパンでの効果  
あるいは改善点等の  
迅速かつ高精度の情報

「本課からの文書？ “右から左”に各市町(教委)に流せばいいの！うちがとやかく言うことじゃないよ！ 県教委の責任だろ！」  
（おいおい、そもそも「うち」は県教委じゃないのか？ なんのための「経由文書」？）

事務所はそれぞれの担当が  
きっちり言われたことさえ  
やっていれば、  
何も問題ありません！  
学校もそうでしょう！



# 日田教育事務所の基本的な考え方＝手段

役に立つ日田教育事務所

結果を予測する  
(目標を設定する)

自ら目標達成に向けて  
計画する

## 学校の役に立つ

- ※学校の「問題解決」支援へ総力を結集
- ・学校の「困り」の的確な把握
- ・専門性・指導力の研鑽・向上
- ・「代替案等」の捻出・提示・支援

## 市町教育委員会の役に立つ

- ※協働体制(態勢)の更なる強化
- ・相互信頼に基づくベストミックスの堅持
- ・即時的な情報共有、連携・分担・協働

日田教育事務所エージェンシー  
を基盤とした4つのミッション

逆境を克服する

【ミッションⅢ】

## 関係各課の役に立つ

- ※効果的・効率的な施策の遂行、課題等の共有
- ・適切なスパンでの効果測定、好事例、  
あるいは改善点等の提案
- ・迅速かつ高精度の情報共有、リエゾン派遣

【ミッションⅣ】

## 職場スタッフ相互の役に立つ

- ※相乗効果のある同僚性の一層の向上
- ・心身の健康維持、やりがい・充実感・達成感
- ・個々の独自性・独創性・専門性の尊重
- ・タイムマネジメント及び職務の「質」の担保

自分が使える能力や  
機会を評価・振り返る

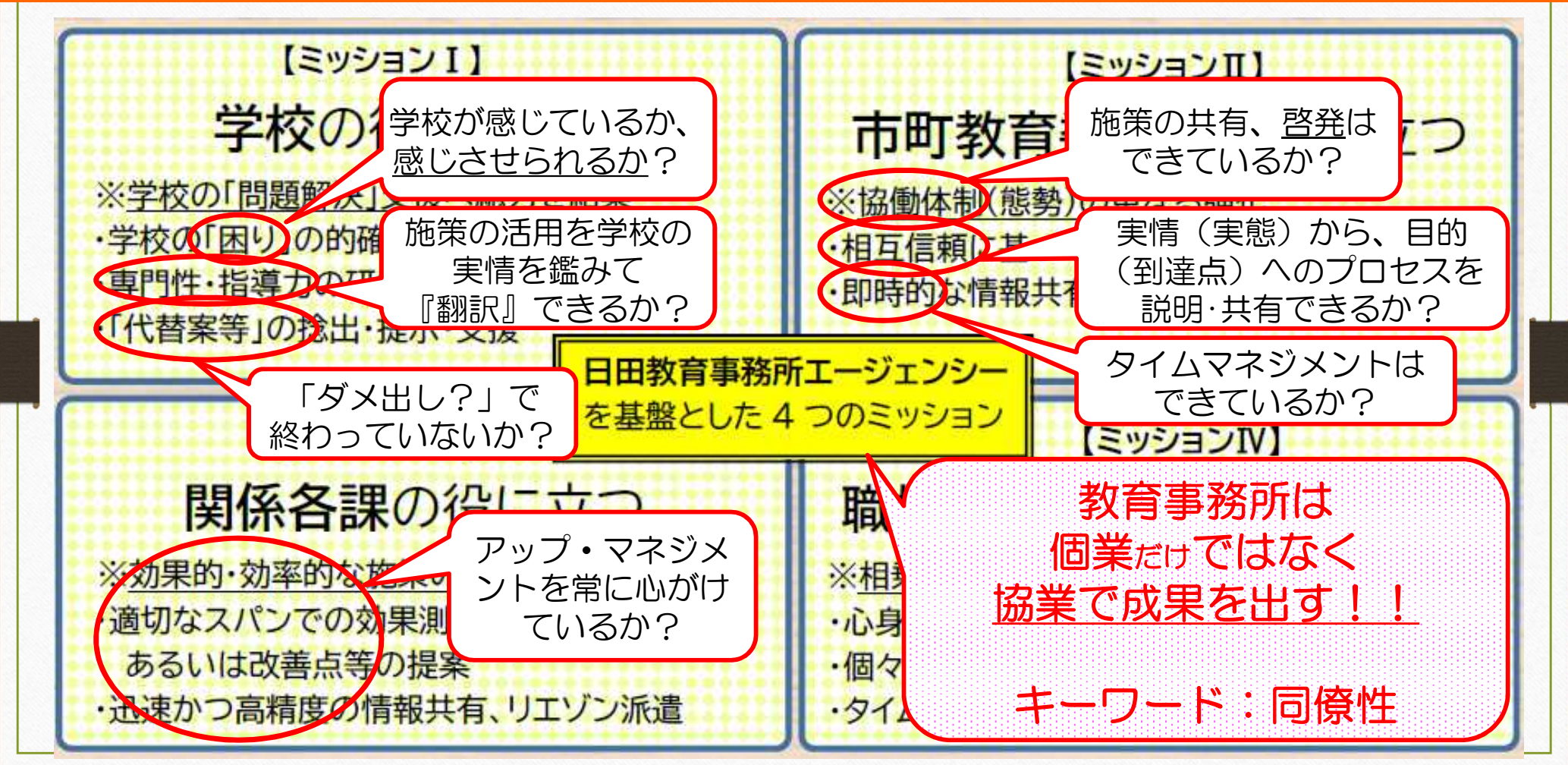
自分をモニタ  
リングする

社会(子ども)に  
対して責任を負う



# 日田教育事務所の基本的な考え方＝手段

役に立つ日田教育事務所



# ビジョン = 基本理念

役に立つ日田教育事務所  
日田教育事務所エージェンシー

“チーム日田” 共同エージェンシーを高める

～「Society5.0を生きる子どもたちの力と意欲の向上」をめざして～



# 「いろは歌」より(広瀬淡窓) 1782年5月22日 ~1856年11月28日

「鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐と槌とに使い分けなば」

## ○咸宜園の教育

個性を生かすという敬天の真意に発し、そこで学ぶ塾生が己の本性に対する深い自覚を持ち、俊秀、英才の中にあつた多数の平凡な人々も、己を磨くことに全力を注いだ